

2011年度 な～に谷っ戸ん田 第13回目

大豆種まき、田んぼ草取り

とき： 2011年7月2日(土)午前

ところ： 堀ノ内の畑(午前)、谷っ戸ん田(午後)

天気： 曇り時々晴れ

参加者： 高橋、久保、磯、松下、オズ、霧生、丸山、石田(1時半まで)、坂本、柴田(午前中)、加藤(午前中)、高田、藤田(3時まで)、梅下母(日菜子、浩太郎、裕二郎)、佐々木母(優聖)、福德(午前中 農政)、吉田(2時半まで)
(大人17名、子ども4名)

本日の作業日程

- (1) 午前中は全員で堀ノ内の畑へ行き、大豆の種まきを終らせる
- (2) 全員田んぼへ戻り、田んぼの草取りを行う

1 大豆の種まき—大豆をまく畝を作り、キヒゲンをまぶした大豆をまいた

10:10 畑に到着 今日曇り勝ちで仕事し易い、ネジバナ、ムラサキツユクサが美しい

- ・ 耕運は、事前に柴田さんが堀ノ内畑へ行き、トラクターでうなってくれていた。
- ・ トラクターでならした土に、75cm 間隔でメジャーを張り、その上を歩いて足跡で線をつける。その足跡に沿って鍬で15cmほどさくって畝を作る。
- ・ 手の空いている人は、並行して草取り。

10:50 休憩 風が涼しく気持ちよい

11:08 作業開始

- ・ 長さ40mほどの畝が6列できたので、白大豆を4列、黒大豆を2列まくことにした。
- ・ 鳥による食害を防ぐ目的で、真っ赤な、キヒゲンR2を、5～10kgに1袋の割合だが、使用する大豆が少ないため、色かげんを見ながらまぶす。
- ・ 目印ヒモ(坂本さん実家からの提供品 注)を張り、目印の場所に大豆を2～4粒ずつまき、片足で土をかぶせる。約20cm間隔に赤いビーズの目印を編みこんだ便利なヒモのおかげで、仕事がとても楽だった。最初は両足でかぶせて深く埋め過ぎてしまったが、かぶせる土は種の2倍程度にする。
- ・ 石田さんがサツマイモの補植のやり方を見せてくれたので、サツマイモのマルチの空いている場所に、各自やってみた。伸びのよい茎の先を2～3節分切り取り、土に植える。
- ・ 手の空いている人、トラクター、は並行して草取り

注) 畑でウネを作るときなどに建築の水糸のように引く紐を「畝引き縄」といいます。

また、畝間や株間がわかるように目印にする棒は「バカ(棒)」といいます。

あの紐は両方の役目をしますね。

まずは、「畝引き縄」でいいかと思いますが・・・

バカ付き畝引き縄？

By 石田さん MLでのフォローから抜粋

12:00 種まき終了

- ・ 谷戸へ戻り昼食～13:30
- ・ 田んぼ周りで石田さんが次々と蛇を捕まえて見せてくれた。

2 田んぼの草取り

坂本さん実家から田車 1台が送付されてきました。この日谷っ戸ん田デビュー。かなりの年代物ですがちゃんと動きます。最近のアルミのやつに較べると重く田んぼで押すのもかなり力が要りますが、働いてくれるのはありがたいです。

この他、二条植えの田車 2台(これは新品)を通販で注文していますが、今週中には届かず。来週には到着しているはず。

13:30 頃から、谷っ戸ん田の草取り。先週もやったはずなのに、雑草はもう生えてきている。

坂本号+テデトールで、株間の草を意識しながらの作業。

夏の日差しの下、雑談しながらのんびりしたらだと田の草取りをするのは楽しいです。私は好きですね。

14:30 ごろ休憩。

15:00 ぐらいから作業再開して 16:00 過ぎまで作業。谷っ戸ん田全体の草取り完了しました。

17:00 ごろ本日の活動終了。次回は 7/9、9:30 谷っ戸ん田集合

以上

報告者：藤田、磯